

甲斐市立玉幡小学校 令和3年度 学校だより 第4号



# チーム玉幡

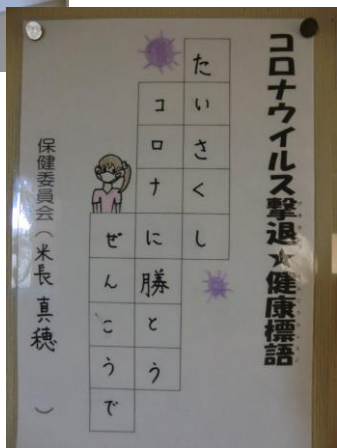
令和3年5月26日 文責：小林 正彦

## コロナに負けない取組継続を…

水泳授業の中止や修学旅行の延期など、新型コロナウイルスの影響がまだまだ大きいのが現状です。毎日の健康観察など、各家庭のご協力に感謝申し上げます。

学校生活においては、朝の健康観察のチェックに始まり、手洗いや3密の回避、放課後の消毒作業など、日常の取り組みを継続しています。

保健委員会の児童が取り組んでくれた標語の活動を紹介します。子ども同士の呼びかけはより意識が高まるので、とてもありがたく思っています。



そんな中ではありますが、県内宿泊行事である「林間学校」が5月31日（月）～6月1日（火）に実施されます。先日の21日（金）には保護者説明会が行われました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

林間学校では多くの活動があります。5年生はその活動実施に向けて一生懸命取り組んでいます。その様子はHPで紹介して

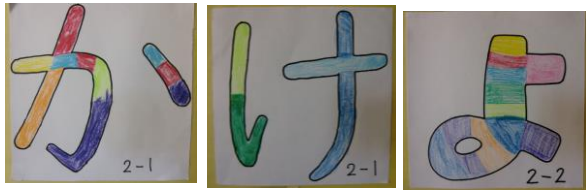
いますのでご確認ください。感染対策を十分にとって実施してきます。

今後は、熱中症も心配されます。児童の健康管理に向け、これからもご協力をよろしくお願いいたします。

## 児童会の取り組み紹介

前号で、児童総会の様子及び今年度の取組を紹介しました。各クラスが一文字ずつ分担し、児童会本部がテーマとして仕上げてくれました。できあがったテーマを一文字ずつ紹介します。





「たがいにほめ合う活動」の『玉小ツリー』にも、ほめ言葉の花が咲き始めました。1学期は「ありがとう」の花です。お昼の放送で、児童会本部の人たちが全校に紹介しています。もっとたくさんの花が咲き、2本目、3本目と木が増えていくとともに、優しい気持ちがあふれていくことを期待したいと思います。



## ほめるとは…

児童会の「ほめ合う活動」に合わせて、「ほめること」を私自身考え直してみました。

「素晴らしい結果が出たとき」「模範的な行動や言動があったとき」が褒めるときという考え方を変えてみると、見る目も変わってきます。「褒める」ということは、その行為や考え方を素直に認めてあげることだと思います。そう考えると、褒めるべきことはいくらかでも見つかります。

例えば、大きな声で音読ができたなら「元気があっていいね」、宿題をやり終えていたら「今日もちゃんとできたね」など、気軽に声をかけてあげることが重要です。

そして、一番大切なことは続けることです。子どもを育てることで肝心なことは根気だと思います。自己肯定感や自己存在感も褒められる環境の中で育っていくものだと思います。

子どもたちは、親や先生に見てもらいたい、関わってもらいたい、褒められたいとい

う、たくさんの『たい』をいつも持っているものです。この『たい』こそ、子どもたちを動かす原動力です。この『たい』を大切に大きく育てていくには「ほめる」ことが有効的な行動だと思います。

子どもが努力をした時やその結果何らかの進歩を見せた時はもちろん、その子なりの当たり前のことが当たり前にできたときこそ、機を逃さず褒めてあげたいときです。子どもの主体性や創造性を期待したいのであれば、認めること、褒めることで『たい』が動き出すはずで



すぐに結果が出ないのが教育です。周りの大人（私たち教師も含め）はゆったり構え、たくさんの「ほめられたという経験」を子どもたちに残してあげたいものです。玉幡小学校は、児童会と教職員が一丸となって目指していきます。

## 全国学力・学習状況調査が実施されます

5月27日（木）、全国学力・学習状況調査が、全国一斉に実施されます。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。この調査は平成19年に開始され、小学校6年生と中学3年生を対象に毎年行われています。

調査目的は「・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」

（文部科学省 HP より）となっています。調査する教科は、「国語」「算数」になります。また、「生活習慣や学校環境に関する質問紙調査」も行われます。実施後は、調査結果を基に玉幡小学校の現状を分析し、今後の指導に役立てていきます。

